

センターだより 7月号



「センター最大級のイベント・夏祭り」の季節となり、7月は、踊りやゲーム遊び、作品作り等、夏祭りに向けての活動をしていきます。

夏祭当日は、みんなで一緒に作った作品をお母さん達や来賓の方々に見てもらったり、練習した踊りを全員で踊る等、7月の取り組みの成果を発揮し、「自信や意欲」を得られる機会にしていきたいと思います。

「夏祭り」は、家族の楽しい触れ合いの場や、来賓や関係機関の方、センターOBのみなさんとの交流の場にもなります。その中で、新しい場に適応する経験や、順番を守って参加するなど、それぞれの子どもに合った参加の仕方を一緒に考えていきたいと思います。みんな元気に「夏祭り」に参加してくださいね。



7月の主な行事予定

3日(水)	親子遊び
10日(水)	親子遊び 瑞浪小学校見学
11日(木)	竜吟幼児園訪問
17日(水)	センター内研究会
24日(水)	放課後等デイサービス
30日(火)	指導方法研究会(午前中) 講演会・勉強会(午後)

～ 指導方法研究会・講演会 ～
日時：7月30日(火)
9時00分～15時30分

センターの支援と職員の資質向上を目的に、公開療育と検討会を行います。

午後からは講演会と勉強会を行います。研修した事を今後の支援に役立てていきたいと思っています。

※ 指導はお休みとなります。よろしくお願いいたします。

< 夏祭り …… 8月8日(木) 午前中です。 > 場所: 瑞浪小学校 体育館

家族みんなで、参加しよう夏祭り…きょうだい、おしいちゃん、おばあちゃん、大歓迎 (^-^)

< 主な日程 > 集合：9時00分～15分までの時間帯に、体育館に入ってください。(時間厳守)

9時30分～10時30分 踊り、お店屋さん、おばけ屋敷等

10時30分～11時 子どもみこし、集団ゲーム遊び等

～ ボランティア・募集 ～

お店屋さん等のお手伝いをしてくれるボランティアさんを、探しています。

小・中・高校生も大歓迎です。

お手伝いを希望するきょうだいがみえましたら職員まで知らせてください。



～ お手伝い ～

指導の待ち時間等に、作品作りのお手伝いをお願いします。ご協力ください。 <(_ _)>



- ※ 千ヶ帖をもって、親子でお店屋さんを回ります。
- ※ 安心して参加して頂けるよう、心配な点等について話し合っていきます。
- ※ 詳しい日程や持ち物等についての案内は、後日ポストに入れておきますので、ご確認ください。
- ※ 終了後に、みんなで後片付けをします。よろしくお願いいたします。



< 園 訪 問 >

市内各園を訪問しています。センター職員を見つけると、「えーと、何先生やったっけ？」とニコニコしながら話し掛けてくれる子、「ぼくの先生は、どこ？」と担当職員を探す子等、どの子も嬉しそうな笑顔で出迎えてくれて、とても嬉しかったです。

制作をしていたさと君&あつ君きょうだい。職員と目が合うと、目を細めての満面の笑顔で、出迎えてくれました。さすが双子、全く同じ可愛い笑顔に、先生達全員が、癒されました。(*_*)

子ども達の様子を見ながら、担当保育士さんと話をしたり、職員室で園長先生や主任先生と情報交流等をする事ができました。

※詳細については、担任よりお知らせします。

< お 楽 し み 会 >

☆フウセンタロウのバルーンショー☆

6月5日(水)に、親の会主催での
お楽しみ会を開催しました。

子ども達は、フウセンタロウさんの手から繰り出される色々な風船技&マジックに「わああ〜すごいね」等、大歓声。子ども達のリアクションに、風船太郎さんも思わずにっこり。

会終了後に、「子ども達のリアクションが良くて、嬉しかったです。」とのお言葉も頂きました。(^-^)

< 放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス で の で き こ と >

1年生~3年生までの子ども達19人が、各学校から月2回、通所しています。「友だちと一緒に遊ぶこと」「友だちと遊びを共有したり、コミュニケーションをとって遊ぶこと」等を、楽しみにしている2・3年生達。「〇〇くん、来るかなあ?」「みんなで〇〇して、遊びたいな」といった声も多く聞かれるようになってきました。

そして4月当初は、この「グループ支援」に戸惑っていた1年生達も、職員とのマンツーマンの関係を頼りにしながら、少しずつ「自分一人でも頑張ってみよう」と、意欲的にグループ遊びに参加し、楽しめるようになってきました。「友だちと一緒に楽しく遊ぶ為に、自分はどうすればいいか」等、これからも、子どもらしくいっぱい悩んだり、考える経験をしてほしいと思います。

< ドキドキゆうまくん♪♪♪ >

風船の中に入るパフォーマンスの権利を、ジャンケンで見事に勝ち取ったゆうまくん。意気揚々と風船に入るのを待っていましたが、ドンドン大きく膨らんでいく風船にちょっとびっくりでしたが、「こわい」と言いつつも、風船の中へ。その後も「こわい・・・でもやってみる」と、自分を奮い立たせ、見事成功。

とても頑張ったゆうま君でした!(^^)!

~ 怒ったり、泣いたりする体験と気持ちの調整・行動修正 ~

子どもが「よく泣いて、困った」「一度、怒り出すと、なかなか気持ちが切り替わらない」といった声をよく聞きます。しかし、子どもは怒ったり、泣いたりしながら、下記のように「自分の気持ちを切り替えたり、行動を修正する良い体験」をしています。放課後等デイサービスの子ども達も、下記のような体験をたくさん積み重ね、成長しました。参考にして下さい。

1. 怒ったり、泣いたりする事で、ストレスの発散ができる。
(ストレスを発散させる為に、怒ったり、泣いたりする理由を探している場合もあります。)
2. 気持ちがスッキリする事で、次の活動に移る事ができる。
3. 何となく気分が爽快になると、泣いたり、怒ったりする事が、無意味な事だと感じるようになる。



- * 1~3の体験を繰り返す事で、気持ちを抑えたり、切り替える等の修正が上手にできるようになってくる。
- * 気持ちの自己修正ができるようになった子どもは、苦手な学習も頑張る等、学習意欲が育っていく。
- * 自分の気持ちを上手に抑えながら、相手に合わせる力が育つ。集団適応や友だちとの関係作りが上手になっていく。
※子どもが自発的に気持ちの切り替えができるように、見守っていきましょう。
- * 「泣いているのは、かわいそうだから、〇〇してあげる」といったフォローは、マイナスです。
- * 子ども自身力で、「怒りながら、泣きながら、気持ちを穏やかにする」事が、本当の力になります。

